

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2007-58202(P2007-58202A)

【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2006-204889(P2006-204889)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 2 3 R

G 0 9 G 3/20 6 2 3 Y

G 0 9 G 3/20 6 2 2 P

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 G

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/20 6 2 3 G

G 0 9 G 3/20 6 2 3 H

G 0 2 F 1/133 5 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月27日(2009.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

信号線駆動回路と、走査線駆動回路と、画素部と、を有する表示装置であって、  
前記画素部は、走査線および信号線に対応して複数の画素がマトリクスに配置され、  
前記信号線駆動回路は、シフトレジスタ回路と、ラッチ回路と、切り替え回路と、を有  
し、

前記切り替え回路は、インバータと、アナログスイッチと、トランジスタと、を有し、  
前記アナログスイッチには、制御信号および前記インバータを介して反転した制御信号

が入力され、

前記トランジスタのゲートには前記インバータを介して反転した制御信号が入力され、  
前記トランジスタのソースまたはドレインの一方は、前記信号線と電氣的に接続され、  
前記トランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記画素が非表示となる電位が印  
加された配線と電氣的に接続されていることを特徴とする表示装置。

**【請求項 2】**

請求項 1 において、

前記制御信号が L レベルのとき、前記アナログスイッチがオンとなり、かつ、前記トラ  
ンジスタがオフとなることによって、前記信号線には、前記ラッチ回路から、前記アナロ  
グスイッチを介してビデオ信号が入力され、

前記制御信号が H レベルのとき、前記アナログスイッチがオフとなり、かつ、前記トラ  
ンジスタがオンとなることによって、前記信号線は前記配線と導通し、前記画素が非表示  
となる電位が前記信号線に印加されることを特徴とする表示装置。

**【請求項 3】**

請求項 2 において、

前記画素部における、i 行目乃至 j 行目の前記画素を非表示とする表示装置であって、  
前記 i 行目の画素のビデオ信号が前記ラッチ回路に入力されている間から、前記 i 行目  
の画素のビデオ信号を前記ラッチ回路に保持し終わった直後までの間に、前記制御信号が  
前記 L レベルから前記 H レベルに変更され、

j + 1 行目の画素のビデオ信号を前記ラッチ回路に保持し終わった直後から、j + 2 行  
目の画素のビデオ信号が前記ラッチ回路に入力されるまでの間に、前記制御信号が前記 H  
レベルから前記 L レベルに変更されることを特徴とする表示装置。

**【請求項 4】**

請求項 2 または請求項 3 において、

前記制御信号が前記 H レベルのとき、前記シフトレジスタ回路へのクロック信号および  
クロック反転信号の入力を停止することを特徴とする表示装置。